

我、人に媚びず、
富貴を望まず。

「我、人に媚びず、富貴を望まず。」

という座右の銘を残した官兵衛は
軍師としての一面だけでなく、

和歌を愛した文化人であり、

敬虔なキリシタン大名であり、

側室を持たずただ一人の妻を愛した、

誠実な男でもありました。

また、信長・秀吉・家康と

天下人の下で活躍した

「最強のナンバー2」というだけでなく、

母里太兵衛や後藤又兵衛など

猛将として名を馳せた家臣団、

「黒田二十四騎」を取りまとめるなど、

家臣からも名君と慕われていました。

黒田長政 [1568 ~ 1623]

黒田官兵衛の嫡男。官兵衛が織田信長に属すと、人質として信長の元へ赴き、羽柴秀吉に預けられた。官兵衛が荒木村重に幽閉されると、謀反を疑われて殺害されそうになるが、竹中半兵衛などの機転で救われる。関ヶ原での活躍が有名で、事前工作に力を発揮、本戦でも石田三成隊を破る活躍をする。関ヶ原での活躍が認められ、福岡藩初代藩主となった。



福岡市博物館所蔵



〔発行元〕ビジネス・インダストリー推進協議会

福岡市博物館所蔵

- 1546年 [0歳] 博多国姫路で誕生。
- 1567年 [21歳] 家督を相続する。
- 1568年 [22歳] 松寿丸(黒田長政)をもうける。
- 1569年 [23歳] 青山・土器山の戦いで10倍差とも言われる兵力差の大军に勝利し、名を轟かせる。
- 1575年 [29歳] 織田信長と謁見。秀吉に仕える。
- 1578年 [32歳] 主君信長への謀反の噂のある荒木村重の説得に単身乗り込むが捕縛され、約1年間幽閉される。
- 1581年 [35歳] 兵糧攻めで鳥取城を攻略。
- 1582年 [36歳] 高松城攻めで水攻めを提案など軍師として活躍。高松城攻略の際、本能寺の变を聞き、中国大返しで殿軍を任される。
- 1583年 [37歳] キリスト教の洗礼を受け、洗礼名をドン・シメオンとする。
- 1587年 [41歳] 太閤町割にて博多の町の区画整備に関わる。
- 1589年 [44歳] 家督を長政に譲り、名を如水と改名する。
- 1590年 [45歳] 小田原征伐に参加、調和による使者として活躍。
- 1604年 [59歳] 死去。崇福寺(博多区千代)に葬られる。

黒田官兵衛には後に「黒田二十四騎」と謳われた勇猛な武将達が仕えていました。

江戸時代の中頃、初期に活躍した家臣から代表的な24人を選んで、その武功を伝えた「黒田二十四騎」があります。民謡黒田節で知られている母里太兵衛や猛将で知られる後藤又兵衛等、つわものぞろいの24人です。彼らの多くは福岡に墓があり、今も福岡に眠っています。

黒田二十四騎

《井上之房 / 小沢信章 / 菅正利 / 衣笠景延 / 棚山丹彦 / 栗山利安 / 黒田一成 / 黒田利高 / 黒田利則 / 黒田直之 / 毛屋武久 / 後藤基次 / 竹森次貞 / 野口一成 / 野村純勝 / 林直利 / 原種良 / 久野重勝 / 堀定則 / 益田正親 / 三宅家義 / 村田吉次 / 母里友信 / 吉田長利》※50名

黒田二十四騎

KURODA K NBEI